

## 第2回がん・生活習慣病対策・歯科・医薬WG会議などにおける主な議論について

## ○がん・生活習慣病対策・歯科・医薬WG（開催日5月31日（水））

分野	主 な 議 論
COPD （慢性閉 塞性肺疾 患）対策	○ 取組の方向性について ・ 喫煙者だけでなく、中学生・高校生のうちからたばこの害についての教育・啓発活動をしていくべきとの意見が出された。 ・ 県として受動喫煙対策に取り組んでほしいとの要望があった。 →たばこ対策については、別途、県健康増進計画策定に向け検討中 今後反映予定



# COPD(慢性閉塞性肺疾患)対策

## 第1 現状と課題

### 1 COPD(慢性閉塞性肺疾患)の有病率及び患者数等

- 推計患者数に占める受診者数が約6%であり、大多数が未診断・未治療とされます。

【表1】 COPD(慢性閉塞性肺疾患)有病率及び患者数等(全国)

有病率	推計患者数	受診者数
8.6% (40歳以上)	530万人	26万1000人 (H26患者調査)

(NICE study, the Nippon COPD Epidemiology study 2001)

### 2 COPD(慢性閉塞性肺疾患)の総患者数

- 本県の総患者数は概ね横ばいですが、全国では減少傾向から近年は増加傾向にあります。

【表2】 COPD(慢性閉塞性肺疾患)のために継続的に医療を受けている者(千人)

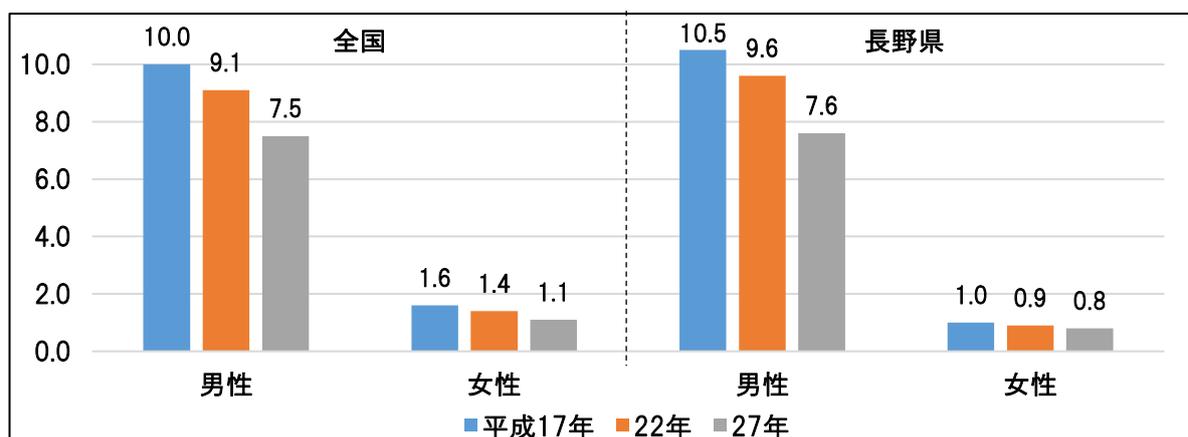
区分		平成14年	17年	20年	23年	26年
全国	男	135	146	114	169	198
	女	78	78	60	98	101
	計	213	224	174	267	299
長野県	男	2	2	3	4	4
	女	2	1	0.5未満	2	1
	計	4	3	約3.5	6	5

(厚生労働省 患者調査)

### 3 COPD(慢性閉塞性肺疾患)による死亡

- 年齢調整死亡率は男女ともに減少傾向にあります。

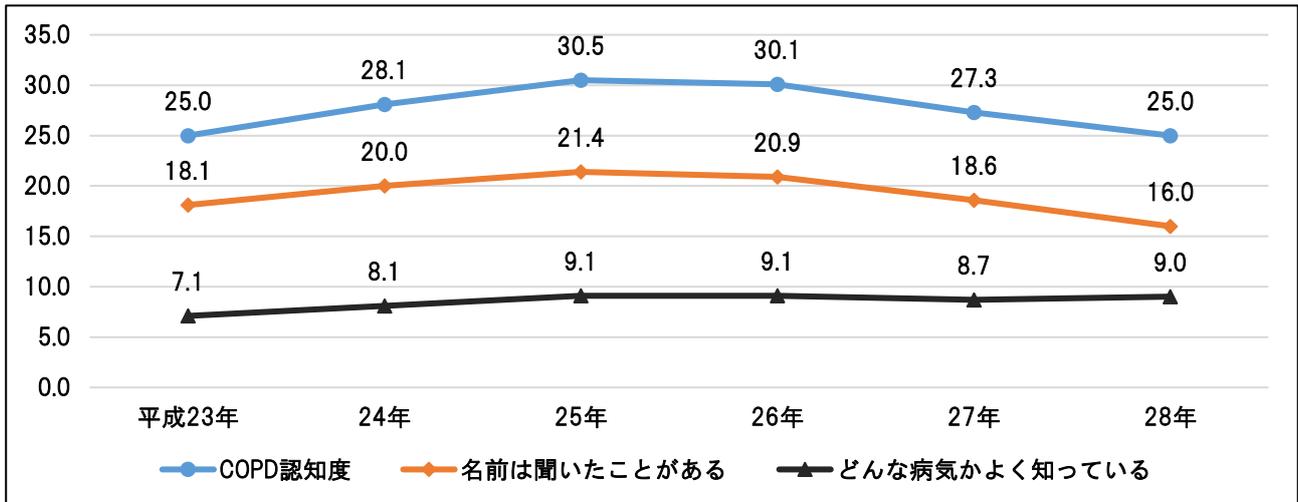
【図1】 COPD(慢性閉塞性肺疾患)による年齢調整死亡率(人口10万対)



(厚生労働省 人口動態特殊報告「都道府県別年齢調整死亡率」)

## 4 COPD（慢性閉塞性肺疾患）の認知度

- COPD は認知度の低さが課題となっています。



（厚生労働省「健康日本 21（第2次）」）

## 第2 今後目指すべき方向と施策の展開

### 1 認知度の上昇と早期受診を促す体制づくり

- 市町村による周知の機会の増加。
- 職場における周知の機会の増加。
- COPD（慢性閉塞性肺疾患）を周知し、認知度を上げるための取組みの実施
- 禁煙への努力。
- たばこを吸っていて、症状がある人はCOPD（慢性閉塞性肺疾患）の可能性があることの理解。

### 2 治療への取組み

- 患者調査において、COPD（慢性閉塞性肺疾患）を放置せずに受診している者の数値の推移をモニタリング。
- せき・たん・息切れなどの症状がある人は早期に医療機関を受診。
- 医療機関による早期治療導入への働きかけを実施。

### 3 社会環境整備と関係機関の連携の取組み

- 分煙、禁煙のための環境整備。
- 教育現場において、禁煙防止の取組みの増加。
- 医療機関及び薬局による周知の機会の増加及び禁煙支援の実施。

### 第3 数値目標

数値目標については、  
・健康増進計画 等  
関連他計画の内容を踏まえ変更予定。

#### 1 認知度の増加と早期受診を促す体制づくり

指 標	現 状 (H29)	目 標 (H35)	目標数値 の考え方	備 考 (出典等)														
COPD の年齢調整死亡率 (10万人あたり)	<table border="0"> <tr> <td>男性</td> <td>長野県 7.6 全 国 7.5</td> <td>男性 7.6 以下</td> <td rowspan="2">男性を全国平均とする。</td> <td rowspan="2">厚生労働省人口動態特殊報告</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>長野県 0.8 全 国 1.1 (H27)</td> <td>女性 現状維持</td> </tr> </table>	男性	長野県 7.6 全 国 7.5	男性 7.6 以下	男性を全国平均とする。	厚生労働省人口動態特殊報告	女性	長野県 0.8 全 国 1.1 (H27)	女性 現状維持									
男性	長野県 7.6 全 国 7.5	男性 7.6 以下	男性を全国平均とする。	厚生労働省人口動態特殊報告														
女性	長野県 0.8 全 国 1.1 (H27)	女性 現状維持																
成人の喫煙率(再掲)	<table border="0"> <tr> <td>男性</td> <td>長野県 H28 集計中</td> <td rowspan="3">今後検討</td> <td rowspan="3">健康日本21(第2次)の指標を参考に10年後に25%の減少とし、本計画の目標年度である5年後の値</td> <td rowspan="3">県民健康栄養調査</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>全 国 30.1% (H27)</td> </tr> <tr> <td>男女計</td> <td>長野県 H28 集計中 全 国 7.9% (H27)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>長野県 H28 集計中 全 国 18.2% (H27)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	男性	長野県 H28 集計中	今後検討	健康日本21(第2次)の指標を参考に10年後に25%の減少とし、本計画の目標年度である5年後の値	県民健康栄養調査	女性	全 国 30.1% (H27)	男女計	長野県 H28 集計中 全 国 7.9% (H27)		長野県 H28 集計中 全 国 18.2% (H27)						
男性	長野県 H28 集計中	今後検討	健康日本21(第2次)の指標を参考に10年後に25%の減少とし、本計画の目標年度である5年後の値				県民健康栄養調査											
女性	全 国 30.1% (H27)																	
男女計	長野県 H28 集計中 全 国 7.9% (H27)																	
	長野県 H28 集計中 全 国 18.2% (H27)																	
COPD の認知度(全国) COPD の認知度(長野県)	25.0% H28 集計中	80.0%	健康日本21(第2次)と同じ。	健康日本21(第2次)														
住民向けの周知を行っている市町村数の増加	22 市町村 (H27)	現在より増加	現状より増加させる	保健・疾病対策課調べ														

#### 2 重症化予防への取組み

指 標	現 状 (H29)	目 標 (H35)	目標数値 の考え方	備 考 (出典等)
COPD の治療を行う医療機関の増加	301 施設 (H27)	現在より増加	現状より増加させる	医療推進課調べ
禁煙治療の保険適用医療機関数	261 施設	増加	現状より増加とする	関東信越厚生局長野事務所

### 3 医療連携体制、職場環境への取組み

指 標	現状 (H29)	目 標 (H35)	目標数値 の考え方	備 考 (出典等)
禁煙又は完全分煙の医療施設の割合	H28 数値 集計中		健康づくり県 民健康会議に て検討中	県民・健康栄養 調査
公共の場における完全分煙実施の割合	〃			県民・健康栄養 調査
職場での受動喫煙の割合	〃			県民・健康栄養 調査
飲食店での受動喫煙の割合	〃			県民・健康栄養 調査

#### コラム

##### 1 第6次計画のコラム

- たばことCOPD

##### 2 第7次計画のコラム

- たばことCOPD
- 児童・生徒等への喫煙防止教育
- (○ 禁煙デバイスインストラクターの取組み)

#### (参考)

##### ● COPD（慢性閉塞性肺疾患）

COPD：chronic obstructive pulmonary disease（慢性閉塞性肺疾患）とは、従来、慢性気管支炎や肺気腫と呼ばれてきた病気の総称です。COPDは「たばこ煙を主とする有害物質を長期に吸入曝露（ばくろ）することで生じた肺の炎症性疾患」であり、日本では原因の90%以上が喫煙とされています。

長年の喫煙習慣を背景に中高年に発症する生活習慣病と考えられていますが、COPD（慢性閉塞性肺疾患）という言葉やその内容が十分に周知されていないのが現状です。

COPD（慢性閉塞性肺疾患）の症状は坂道歩行や階段昇降など、身体を動かした時に息切れを感じる「労作性呼吸困難」が特徴であり、慢性のせきやたんも特徴的な症状です。喫煙歴があって、せき、たん、労作性呼吸困難がある中高年者はCOPD（慢性閉塞性肺疾患）が疑われます。（日本呼吸器学会）